



Personal data

代表取締役 榎本 一利

大手自動車メーカーのサービスエンジニアの仕事に就いた後、リフォーム業、不動産業と営業畑一筋で歩む。長年にわたる経験を活かし、かつての先輩が創業して創設した「アルカディアホーム」へ、2004年3月には「アルカディアホーム 志木店」として独立。「東日本都市開発」を創設した。

Company's data

株式会社  
東日本都市開発

ARCADIA Home

埼玉県志木市柏町 4-5-1  
TEL 048-486-6522 FAX 048-486-6521  
URL : <http://www.arcadiahome.co.jp>

時代を切り開く経営者に聴く

# “家族を守る” 安心・安全のために 「一棟入魂」の住まいづくりを実施！

「アルカディアホーム 志木店」として、不動産の売買・賃貸・管理、注文建築の設計・施工、リフォーム、宅地造成と、幅広い不動産事業を手掛ける「東日本都市開発」。「お客様の良きパートナーとして、心から喜んでもらえる家を作りたい」と、顧客第一主義を貫く同社の榎本社長に、俳優の石橋正次さんがインタビューを行った。



記  
念  
撮  
影

石橋 榎本社長は営業畑一筋で歩んでこられたそうですね。  
榎本 ええ。卒業後は自動車メーカーのサービスエンジニアの仕事に携わっていたのですが、次第に営業職への憧れを抱くようになりまして。そして退職後、リフォームや不動産を扱う会社で営業職に就いたのです。「結果がすべて」の世界で長年働いたのですが、ある時ふと疑問に感じまして。「自分のため、会社利益のための営業になっていないか？」と。家は生活設計に関わる重要なステージ。我々はおお客様の「良きパートナー」であるべきではないか。いくら成績を上げて「本当にこれでいいのか」という思いが消えることはありませんでした。そんな中、かつての職場の先輩が「お客様に本当に喜んでもらえる家」と、群馬にて「アルカディアホーム」

経営者の視点

▼「家族を守る家」をコンセプトに、安心・安全な生活を実現する住宅を提供している「アルカディアホーム」。「一棟入魂」をキャッチフレーズに掲げ、心を込めた「まっすぐな家づくり」を手掛けている。  
▼埼玉にて、「アルカディアホーム 志木店」を展開中の「東日本都市開発」の榎本社長も、「まっすぐな家づくり」を手掛ける一人だ。「お客様の顔を見て手掛ける仕事に、手抜きなど考えられませんが」と言葉を強める。欠陥

住宅問題が取り沙汰される近年において、顧客第一主義を貫くことを自身の信条としている。安心を、そして顧客の喜びを「守る」心強い存在として、地域での知名度を徐々に上げている。  
▼「お客様のパートナーでありたい。どんな些細なことでも相談いただけたら」との思いを込めて、「便利屋」でありたいのです」と社長。家づくりへのまっすぐな思いが、顧客と、そして地域との「輪」を築いている。

「誠心誠意をもって  
接していただければ  
お客様には何も  
伝わらないのです」

代表取締役 榎本 一利

を創業。そして私も2年間群馬で一緒に働かせてもらい、現在は埼玉地区を任せていただく形で、「アルカディアホーム 志木店」として活動しています。  
石橋 お客様主体の事業を目指してスタートされたんですね。  
榎本 はい。「アルカディアホーム」事業に携わるようになってからは、「誠心誠意で接していないとお客様には何ひとつ伝わらない」ことを実感。またお互いに信頼して初めて、いい住宅を提供できる。1軒1軒の住宅、お客様に対する思い入れが強くなりました。完成の際には感概まって涙してしまったことも……。それらの思いを「初心」とし、お客様サービス第一主義を徹底。現在は不動産売買・賃貸・管理、注文・分譲住宅の設計施工から販売、宅地造成など、不動産に関するあらゆる事業を手掛け、お客様の幸福な住宅探しをサポートしています。また、資金の相談もお受けしていますよ。  
石橋 トータルサポーターとして、幅広い事業を手掛けていらっしゃる。  
榎本 ええ。家づくりにおいては、「お客様の立場で開発すること」をモットーに掲げています。専門スタッフがお客様のご要望を伺い、施工に反映。家族みんながこころよく感じる、安心して住める高品質の家づくりを行っています。また、習得に挙げたいのが、当社の「エリア」へのこだわりです。志木市を中心に、新栄、朝霞、和光エリアと、地域に密着した事業を展開しています。地域を熟知しているからこそ、ライフスタイルに合った最適な住まいを提案することができますから。それに、地域の人とのつながりを強めることで、よりきめ細かな対応が実現します。

石橋 家は、多くの人にとって一生に一度の大きな買い物。確固たる理念をお持ちの御社には、安心して任せられますね。  
榎本 ありがとうございます。またお客様の安心には、我々作り手の「心」も重要になってきます。ある時、職人さんに言われました。「どんな人が住むのかわからないような家は、心を込めてお作りすることができないだろう？」と。相手の顔を見てこそいい仕事を実現する。そこで当社では、上棟式で施主さんと職人さんの顔合わせをするようになりました。大工だけではなく、クロス業者さんや設備業者さん、電気工業者さん……。これによって、職人さんには「心」が入りますし、施主さんは実際に家を作る人たちの顔を見ることによって安心されると思います。「心」を大切にすることで、施工自体の質も非常に高くなるんです。  
石橋 徹底した顧客第一主義ですね。保証やメンテナンスにも力を入れておられるとか。  
榎本 はい。第三者機関である日本住宅保証検査機構（JIO）による現場検査を実施していただくと、地盤から基礎、構造と、くまなく調査することで、長きに

わたる安心を実現できるのです。また、扱うのはすべて高耐久住宅で、安心の建設工法をお約束。お引渡し後のアフターサービスも万全です。  
石橋 何名で働いておられるのですか。  
榎本 5名です。「より良いものをお客様に」という私の思いを伝え、常にアンテナを張り、情報の収集に努めているんです。それらの情報は、土地の買い取り業務にも活かしていますので、気軽にご相談いただければと思います。これからは会社としての様々な可能性を見出しながら、皆さんのお役に立てる不動産業務を手掛けていくつもりです。  
石橋 不動産業界も変化が続いていますか……。  
榎本 我々は「パートナー」としての「変わらない輪」を大切にしていきたいと思っています。ご家族が安心して安全に生活できる住まいをご提案させていただくことが我々の使命。住まいに関することで少しでもお役に立てるよう、パートナー業務に力を注いで参ります。 ■

石橋 正次 (俳優)

「榎本社長の、お客様を第一に考える真摯な姿勢が伝わってくる対談でした。家は、多くの人にとって一生に一度の大きな買い物ですから、親身になって、真剣に住まいづくりを考えてくださる『アルカディアホーム』さんに出会えた方は本当に幸せだと思います。職人さんも含め、心を大切に作る施工が、より良い家をつくりあげる……終始、誠意が感じられるお話でした。今後のご活躍を楽しみにしています！」

